



おにぎり通信

2021年4月3日（土曜） 四ツ谷おにぎり仲間

こんにちは！私たちは毎週土曜日に、四ツ谷、銀座、日比谷、秋葉原、日本橋、東京駅周辺で生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

いつもの年であれば、イースター（復活祭）のため、この時期に訪問を1回お休みしますが、今年は休まずに訪問します。キリストの死からの復活を祝うイースターは、キリスト教ではクリスマス以上の一番の行事ですが、今年は、コロナでお祝いの規模が小さくなるためです。

クリスマスは、明治の頃から、キリスト教に留まらず日本中で祝われる年中行事になっていった一方、イースターは、その存在すらそんなには知られていません。イースターは、満月に合わせて毎年日にちが動くので、恒例行事にしばらくところがあります。また、3月4月のこの時期は、卒業式や入学式・入社式といった大きなイベントが既にあるので、イースターの入る余地がありません。


福祉行動は、しばらくお休みします。


お困りの方は、おにぎりを配る時に、お声がけください。

病院や生活相談等で、福祉事務所に行くことを希望される方は、おにぎりをお渡しに伺った際に声がけ下さい。毎週土曜日の訪問活動の時に声がけ頂いた場合、翌月曜日に福祉事務所まで同行します。

中央区福祉事務所・中央区築地1-1-1 中央区役所4階

千代田区福祉事務所・千代田区九段南1-2-1 千代田区役所3階

 おにぎりを包むラップや読み終わった通信は、放置せずゴミ箱へ

 おにぎりは、お1人1個で、その日のうちに召し上り下さい

【孤独・孤立】

コロナ禍で、人と人が接する機会が減り、孤独・孤立を感じる人が増えています。人は、孤独・孤立に苦しみますが、これは、お腹が空くと辛くなるのと同じく生物学的な反応で、命に関わるからです。当たり前ですが、人は食べないと死にます。なので、体が「食べないと駄目ですよ」と呼びかけてくるのが空腹感です。孤独感・孤立感は、人類が、かつて集団で獲物を狩り、食べ物を採って集めていたことに由来します。集団から外れると食べ物が得られず死につながるため、それに対する恐怖が、孤独感・孤立感となって現れ、社会的なつながりを取り戻すように呼びかけます。狩猟採集をしていた頃と比べると、世の中は大きく変化していますが、生物としての人間は変化しておらず、相変わらず本能的に、社会的つながりを強く求めているのです。

現代の生活を考えると、集団から外れることが、食べ物が得られないことに必ずしもつながるわけではないので、孤独や孤立を寂しく感じる必要はないとも言えます。独りであることは、自由でもあるので、それを楽しむこともできます。一方で、人から悪く言われたり、誰かを怒らせたりと、社会から外れるようなことが起こると、どうしても嫌な気分が生じます。これが進むと、誰もが普段の生活の中で自然に感じるはずの孤独に対して、自分は魅力の無い劣った人間だから孤独になる、誰からも顧みられない存在だから孤立する、といった捉え方をしかねませんが、誤った思い込みであることがしばしばです。不必要でも勝手に湧き上がってくる孤独感・孤立感を退治するには、こうした否定的な考えが起こっても、強制的に打ち切って考えないようにするのが、効果的な方法です。



よつや なかま ちよだくこうじまち せい きょうかい
四ツ谷おにぎり仲間 千代田区麴町6-5-1 聖イグナチオ教会
れんらくさき れんらくかのうじかん まいしゅうどうようびごご じ じ
連絡先 080-7967-8672 (連絡可能時間 毎週土曜日午後3時～6時)